2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">中国語 I (コミュニケーション)</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文1回生 教育教福1回生 文学部英米1回生 人間人社1回生 文学部教福1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">嘉瀬 達男</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">中国語の基本会話能力の修得</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>中国語の基本文型と基礎会話を学習する。そして自分の表現したい内容を、自分の口で言えるようになることを目指す。そのため、まず発音練習を繰り返し行ない、発音記号を覚えてもらう。その後、基本文型を学習しながら、多くの言い換え練習を行なう。とにかく口で表現することを重視するので、口と声の大きさも評価の対象になる。時には教科書以外の教材を用いて、中国語の背景にある生活や文化にも触れたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>各期末の筆記試験と、発音・会話の小テストの結果に、出席平常点を加味して評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">『中国語精選サラダ』</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">劉郷英・嘉瀬達男・ 豊後宏記</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">朝日出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">『プログレッシブ中国語辞典』</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">武信彰 ほか</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">小学館</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>《前期》</p> <p>1 中国語とは</p> <p>2 発音：母音の練習</p> <p>3・4 発音：子音の練習</p> <p>5 「～する（動作の表現）」第1課</p> <p>6・7 「～をもっています（所有表現）」第2課</p> <p>8 「……は～です（“是”の用法）」第3課</p> <p>9 発音小テスト</p> <p>10・11 「いくつ食べますか？（個数の言い方）」第4課</p> <p>12 「……は～だ（形容詞の使い方）」第5課</p> <p>13・14 「～な……（“的”の用法）」第6課</p> <p>15 筆記試験</p> <p>《後期》</p> <p>16 復習</p> <p>17・18 「……は～にあります（存在の表現①）」第7課</p> <p>19 「～に……があります（存在の表現②）」第8課</p> <p>20・21 「明日～します（時の表現）」第9課</p> <p>22 発音小テスト</p> <p>23 「～したことがあります（経験の表現）」第10課</p> <p>24・25 「～しました（完了の表現）」第11課</p> <p>26・27 「～したい」「～できる」（助動詞の使い方）第12課</p> <p>28・29 「～で……する」「～に……する」（介詞の使い方）第13課</p> <p>30 筆記試験</p>		